

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年8月3日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東  
 コード番号 6464 URL http://www.tsubaki.com/  
 代表者 (役職名)取締役兼代表執行役CEO (氏名)高宮 勉  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼専務執行役CFO (氏名)小原 シェキール (TEL)06-6224-0193  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 平成28年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	18,429	△8.5	3,557	△9.0	2,659	△29.1	2,014	△30.0	2,014	△29.9	△2,865	△189.8
27年12月期第2四半期	20,140	14.6	3,907	12.7	3,750	34.1	2,877	43.3	2,875	43.2	3,191	275.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
28年12月期第2四半期	円 銭 50.61	円 銭 49.73
27年12月期第2四半期	73.31	—

(参考)

EBITDA 28年12月期第2四半期4,372百万円 (9.0%減) 27年12月期第2四半期 4,802百万円

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

(注1) 27年12月期第2四半期の希薄化後1株当たり当期利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は27年12月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	89,729	40,980	40,964	45.7
27年12月期	95,197	45,053	45,034	47.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	33.00	33.00
28年12月期	—	30.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	33.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	△7.3%	7,150	0.6	6,130	△3.6	4,500	0.5	112.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名 —)、除外 一社(社名 —)  
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	39,872,200株	27年12月期	39,769,700株
28年12月期2Q	36株	27年12月期	—株
28年12月期2Q	39,799,705株	27年12月期2Q	39,221,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、英国のEU離脱懸念、相次ぐテロや難民問題への不安、中国やアジア新興国経済の減速、原油安など景気下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。一方、国内においては、依然として個人消費の低迷は続き、急激な円高及び中国をはじめとした新興国経済の先行き不安等により低調に推移いたしました。特に工作機械産業においては、前年同期を割り込む受注減の状況が継続しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は前年の売上収益が好調（対2014年比 2015年売上収益は14.6%増）であった事もあり、前年同四半期比8.5%減の18,429百万円となりました。また、円高による決算時円換算影響を差し引いた実質的な増減2.9%減となっております。

営業利益につきましては、前年同四半期比9.0%減の3,557百万円となり、円高による決算時円換算影響を差し引いた実質的な増減は5.4%減となっております。親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,014百万円（前年同四半期比29.9%減）となりました。

なお、継続する工作機械産業の回復の遅れ及び円高にもかかわらず、当第2四半期の売上収益は第1四半期に対し6.2%増の9,490百万円となり、当第2四半期の営業利益率は第1四半期に対し2.1%増の20.3%となりました。

このような環境の中、当社グループは「“Further Profitable Growth（さらなる利益ある成長）”を実現し、企業価値を継続的に創造し続ける輝く企業を目指す」という経営理念のもと、“グローバル・ワン・ツバキ・ナカシマ”により、精密ボール業界におけるリーディングメーカーの地位の維持・発展を実現すべく努力しております。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

#### ボールビジネス

ボールビジネスでは、売上収益は15,950百万円（前年同四半期比6.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3,208百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

#### リニアビジネス

リニアビジネスでは、売上収益は2,292百万円（前年同四半期比20.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は167百万円（前年同四半期比50.4%減）となりました。

#### その他

その他については、売上収益は187百万円（前年同四半期比1.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は182百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前期末に比べ2,457百万円減少し43,128百万円となりました。これは現金及び現金同等物が36百万円、営業債権及びその他の債権が1,429百万円、たな卸資産が1,039百万円減少したことによります。

非流動資産は前期末に比べ3,011百万円減少し46,601百万円となりました。これは有形固定資産が2,546百万円、無形資産及びのれんが485百万円減少したことによります。

流動負債は前期末に比べ1,085百万円減少し4,228百万円となりました。これは営業債務及びその他の債務が49百万円、未払法人所得税等が477百万円、その他の流動負債が559百万円減少したことによります。

非流動負債は前期末に比べ310百万円減少し44,521百万円となりました。これは借入金が236百万円、繰延税金負債が189百万円減少し、その他の非流動負債が108百万円増加したことによります。

資本は前期末に比べ4,073百万円減少し40,980百万円となりました。利益剰余金が700百万円増加し、その他の資本の構成要素が4,874百万円減少したことによります。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は17,183百万円と前連結会計年度末と比べ36百万円の減少となりました。当第2四半期連結連結会計期間の各活動におけるキャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュフローは2,712百万円の収入となりました。主な要因は税引前四半期利益が2,659百万円となり、減価償却費及び償却費815百万円、営業債権及びその他の債権の減少503百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額206百万円、法人所得税等の支払額1,182百万円などのキャッシュ減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュフローは283百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出260百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュフローは1,241百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額1,268百万円、借入金の返済による78百万円の支出、新株予約権の行使による105百万円の収入によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年12月期通期の業績予想につきまして、2016年2月15日に公表しました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2016年8月3日)公表の「2016年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表  
 (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,219	17,183
営業債権及びその他の債権	11,123	9,694
たな卸資産	16,962	15,923
その他の流動資産	281	328
流動資産合計	45,585	43,128
非流動資産		
有形固定資産	20,766	18,220
無形資産及びのれん	24,742	24,257
投資不動産	3,755	3,755
その他の投資	208	170
繰延税金資産	73	140
その他の非流動資産	68	59
非流動資産合計	49,612	46,601
資産合計	95,197	89,729
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,978	1,929
借入金	155	155
未払法人所得税等	1,055	578
その他の流動負債	2,125	1,566
流動負債合計	5,313	4,228
非流動負債		
借入金	38,954	38,718
退職給付に係る負債	2,060	2,067
繰延税金負債	2,195	2,006
その他の非流動負債	1,622	1,730
非流動負債合計	44,831	44,521
負債合計	50,144	48,749
資本		
資本金	16,165	16,218
資本剰余金	10,343	10,394
自己株式	—	△0
その他の資本の構成要素	127	△4,747
利益剰余金	18,399	19,099
親会社の所有者に帰属する持分	45,034	40,964
非支配持分	19	16
資本合計	45,053	40,980
負債及び資本合計	95,197	89,729

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月 1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年6月30日)
売上収益	20,140	18,429
売上原価	14,421	13,192
売上総利益	5,719	5,237
販売費及び一般管理費	1,802	1,715
その他の収益	59	51
その他の費用	69	16
営業利益	3,907	3,557
金融収益	63	33
金融費用	220	931
税引前四半期利益	3,750	2,659
法人所得税費用	873	645
四半期利益	2,877	2,014
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,875	2,014
非支配持分	2	△0
四半期利益	2,877	2,014
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	△2	△2
純損益に振り替えられない項目の合計	△2	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	279	△4,761
キャッシュ・フロー・ヘッジ	37	△97
売却可能金融資産の公正価値の変動	0	△19
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	316	△4,877
税引後その他の包括利益	314	△4,879
四半期包括利益	3,191	△2,865
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,188	△2,862
非支配持分	3	△3
四半期包括利益	3,191	△2,865
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	73.31	50.61
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	49.73



## 第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年6月30日)
売上収益	10,244	9,490
売上原価	7,364	6,708
売上総利益	2,880	2,782
販売費及び一般管理費	903	864
その他の収益	34	15
その他の費用	69	3
営業利益	1,942	1,930
金融収益	46	21
金融費用	82	556
税引前四半期利益	1,906	1,395
法人所得税費用	536	344
四半期利益	1,370	1,051
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,368	1,051
非支配持分	2	△0
四半期利益	1,370	1,051
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	—	—
純損益に振り替えられない項目の合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	731	△3,046
キャッシュ・フロー・ヘッジ	14	△25
売却可能金融資産の公正価値の変動	△2	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	743	△3,074
税引後その他の包括利益	743	△3,074
四半期包括利益	2,113	△2,023
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,110	△2,020
非支配持分	3	△3
四半期包括利益	2,113	△2,023
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	34.89	26.41
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	26.00

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	その他の資本の構成要素			
			新株予約権	確定給付制度の再測定	在外営業活動の為替換算差額	体キャッシュ・フロー・ヘッジ
2015年1月1日 残高	15,884	10,062	0	—	1,582	△328
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△2	278	37
四半期包括利益	—	—	—	△2	278	37
株式報酬取引	—	—	0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	2	—	—
所有者との取引額等 合計	—	—	0	2	—	—
2015年6月30日 残高	15,884	10,062	0	—	1,860	△291

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2015年1月1日 残高	7	1,261	13,949	41,156	18	41,174
四半期利益	—	—	2,875	2,875	2	2,877
その他の包括利益	0	313	—	313	1	314
四半期包括利益	0	313	2,875	3,188	3	3,191
株式報酬取引	—	—	0	0	—	0
利益剰余金へ振替	—	2	△2	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	2	△2	0	—	0
2015年6月30日 残高	7	1,576	16,822	44,344	21	44,365

(単位：百万円)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2016年1月1日 残高	16,165	10,343	—	0	—	463	△336
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2	△4,758	△97
四半期包括利益	—	—	—	—	△2	△4,758	△97
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
株式の発行	53	51	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	0	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	—	2	—	—
所有者との取引額等合計	53	51	△0	△0	2	—	—
2016年6月30日 残高	16,218	10,394	△0	0	—	△4,295	△433

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2016年1月1日 残高	△0	127	18,399	45,034	19	45,053
四半期利益	—	—	2,014	2,014	△0	2,014
その他の包括利益	△19	△4,876	—	△4,876	△3	△4,879
四半期包括利益	△19	△4,876	2,014	△2,862	△3	△2,865
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
株式の発行	—	△0	—	104	—	104
剰余金の配当	—	—	△1,312	△1,312	—	△1,312
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
新株予約権の失効	—	△0	—	△0	—	△0
利益剰余金へ振替	—	2	△2	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	2	△1,314	△1,208	—	△1,208
2016年6月30日 残高	△19	△4,747	19,099	40,964	16	40,980

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月 1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,750	2,659
減価償却費及び償却費	895	815
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	35
受取利息及び受取配当金	△33	△16
支払利息	220	219
為替差損益(△は益)	△121	755
固定資産売却損益(△は益)	△7	△0
固定資産処分損	3	13
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	606	503
たな卸資産の増減額(△は増加)	346	△481
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	220	304
その他	△209	△711
小計	5,680	4,095
利息及び配当金の受取額	33	5
利息の支払額	△220	△206
法人所得税等の支払額	△1,020	△1,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,473	2,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△359	△260
有形固定資産の売却による収入	93	0
投資有価証券の取得による支出	△1	—
その他	3	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264	△283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△1,268
長期借入金の返済による支出	△78	△78
新株予約権の行使による収入	—	105
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78	△1,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△1,224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,149	△36
現金及び現金同等物の期首残高	10,452	17,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,601	17,183

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ボールビジネス」、「リニアビジネス」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「ボールビジネス」は、精密球の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。「その他」は、不動産の賃貸等を行っております。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

## (2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	17,056	2,895	189	20,140	—	20,140
セグメント間収益	—	—	21	21	△21	—
連結収益合計	17,056	2,895	210	20,161	△21	20,140
セグメント利益	3,459	337	184	3,980	△73	3,907
金融収益	—	—	—	—	—	63
金融費用	—	—	—	—	—	△220
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	3,750

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	15,950	2,292	187	18,429	—	18,429
セグメント間収益	—	0	22	22	△22	—
連結収益合計	15,950	2,292	209	18,451	△22	18,429
セグメント利益	3,208	167	182	3,557	0	3,557
金融収益	—	—	—	—	—	33
金融費用	—	—	—	—	—	△931
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	2,659

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。